

第八回 SJAC講演会を開催

－ PBLセミナー －

(一社)日本航空宇宙工業会は、去る2月25日(火)、防衛省から装備政策課 堀地課長及び塩山室長、また、米国デロイト社からWhitehead氏及びBanghart氏を講師にお招きし、第八回SJAC講演会をグランドヒル市ヶ谷にて開催した。

当工業会では、平成23年7月に防衛省が新しい契約形態であるPBL(Performance Based Logistics)のガイドラインを発表して以降、AIA(米国航空宇宙工業会)や米国企業を訪問するとともに、AIAと米国防総省のカンファレンスに参加するなど、PBLに関する委員会活動を推進している。

本講演会は、会員企業の皆様にPBLをより広く理解して頂けるように企画したもので、防衛省の基調講演、現在の取組みに関する講演を始め、PBLの概要説明、米国における事例や経験の紹介、発注・受注両者によるパネルディスカッション、などの豊富なプログラムで実施した。当日は防衛省及び会員企業から約160名が出席し、PBLに対する関係者の関心の高さが窺えた。

講演会当日の演題と概要は以下のとおりであるが、説明資料は当工業会のホームページで掲載しておりますので、ご参照願います。

1. 「基調講演」

防衛省装備政策課 課長 堀地 徹氏
(内容) 防衛省におけるPBL契約の今後の方向性、装備品の可動率向上を阻む要因の調査分析、PBLとは?、PerformanceとLogistics、PBLのイメージとコストパフォーマンス、等

2. 「PBLの取組みについて」

防衛省装備政策課補給・管理企画室

室長 塩山 泰聖氏

(内容) 装備品の維持・整備業務の在り方の検討の推進(概要)、PBL契約拡大に向けた検討体制(案)、PBL対象装備品の検討状況、PBLパイロットモデルの業務範囲、等

3. 「PBL解説書の概要」

(一社)日本航空宇宙工業会

業務部長 杉原 康二 他

(内容) 欧米諸国におけるPBL導入の経緯、米国におけるPBLに関するガイドブックの概要、試行的契約の協議状況・実施状況と解決すべき課題、等

4. 「Key Success Factors and Lesson Learned from PBL in US」

デロイト 航空宇宙・防衛部門

Mr. Tristan Whitehead

(内容) PBLの実際、PBLによる新しい変革と課題への挑戦、PBLは変革をもたらすのか、等

5. 「10 Myths About Performance Based Logistics」

デロイト 防衛サプライチェーン

Mr. Allan Banghart

(内容) PBLには10の神話がある。(PBLは即応性やコストの改善に失敗したのか、PBLはコストとパフォーマンスを達成するために正確に管理されるべきか、等)

6. パネルセッション「官から民へ、民から官へ相互に期待・要望すること」

(パネラー)

・ 防衛省装備政策課 課長 堀地 徹 氏

・ ㈱IHI 防衛システム事業部

課長 原野 清隆 氏

・ エアバスヘリコプターズ

官庁営業部主席 松本 光洋 氏

・ デロイト 防衛サプライチェーン

Mr. Allan Banghart

・ デロイト 航空宇宙・防衛部門

Mr. Tristan Whitehead

(内容) 官民の意識改革、官民共通教育、官民の共同検討チームについて議論



会場の状況



パネルセッションの状況